

平成 21 年 1 月 23 日

各位

東大阪宇宙開発協同組合  
理事長  
今村 博昭

### 「まいど 1 ごう」打ち上げ成功に関して

2002 年に当組合が発足以来、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託事業として取り組み開発してきました人工衛星 SOHLA-1 が、本日種子島宇宙センターより国産ロケット H-IIA 15 号機により打ち上げられ、14 時 36 分から約 8 分間電波を受信し軌道投入に成功を確認し「まいど 1 ごう」と命名されました。

本事業の推進にあたり、衛星開発の支援から打ち上げ、運用に至る迄ご尽力ご指導戴きました独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)の皆様方、三菱重工業株式会社の皆様方、関係行政機関の方々、並びに再委託先として開発に従事して戴きました大阪府立大学、大阪大学、龍谷大学の関係者の皆さん、全国から応援戴いたサポーターや協賛企業の皆様方に厚く御礼申し上げます。

当初、人工衛星の打ち上げ成功時には日本から「不況」という言葉が消えている事を願ってスタートしました。意に反して「未曾有の不況」の言葉が飛び交う中での打ち上げとなってしまうりましたが、この打ち上げを起爆剤として「不況」という言葉が消える事を願っています。